

図書だより

平成28年 9月2日 発行
金沢市立工業高等学校 図書委員会

沖縄特集！ 沖縄に関する本が沢山用意されています。事前学習を行い、修学旅行を満喫してきてください！

『Beams EYE on OKINAWA』

日本を代表するセレクトショップ、ビームスから初のトラベルガイドブック。

遊ぶ

『いまこそ沖縄 沖縄に親しむ 50問 50答』 行田稔彦/著

五感を使って沖縄を知ろう。

青い海、青い空、白い砂。沖縄はどのようにこんなにキレイなの？

チャンプルー文化。「チャンプルー」ってどんな意味？ なぜシーサーなの？問答式で沖縄を知ることができる1冊。

『ことば絵ブック 沖縄』 角川書店

沖縄の方言をいくつか知っていますか？

チューウガナビラ「こんにちは」、チバリヨ「頑張れよ」、イッパー マーサン「とてもおいしい」

ワー、ワン「私」、ウンジュ、ナー「あなた」、イー リキサン「たのしい」

沖縄の方言を知るうちに文化まで学んでいた！楽しいイラスト付き、方言ガイドブックです。

『沖縄美ら海水族館が日本一になった理由』 内田詮三/著

この水族館の何が人を惹きつけるのか？数々の「世界一」と「世界初」を生み出した舞台裏が本著にて克明に語られる！

学ぶ

『九州・沖縄 食文化の十字路』 豊田謙二/著

九州と沖縄は、弥生時代から食文化を通じて世界とつながっていた。

沖縄の「食」の不思議な個性を知ることが出来る1冊。

『琉球大料理帖』 高木凜/著

琉球王朝時代の60の食材、70の料理が再現されている。王朝時代から伝わる料理とはこんなにも豊かで、美しく、おいしいものだった！琉球料理への認識を新たにす料理本。

食べる

『ドキュメント 沖縄 1945』 玉木研二/著

沖縄はいつまで本土の”防波堤”なのか！？

沖縄戦を知る、考える

『ぼくが遺骨を掘る人「ガフヤー」になったわけ。—サトウキビの島は戦場だった—』 具志堅隆松/著

遺骨は沖縄戦の証言者。ガマの奥でうずくまる少年、正座して自決した住民、たこつぼ壕にくずおれた兵士。30年間、沖縄戦の遺骨と戦争遺物を収集・記録してきた著者が語る沖縄戦の真実。

『ひめゆりの沖縄戦 一少女は嵐の中を生きた—』 伊波園子/著

呼吸したり話したりするたびに背中からの傷からジュージュと泡の出る人、脳症を起こしてわめき散らす人、破傷風熱などでうんうんうなっている人など、あふれるほどの患者が横たわっています。うす暗い壕の中で、なにか身の毛のよだつ思いがしました。(本文引用)